

## 地域福祉計画策定に伴う専門職アンケート調査について

社会福祉法に基づく地域福祉計画の策定に際し、平成29年度に下記のとおり地域の課題および連携を望む機関等の調査を実施しました。

### 1. 調査の概要

#### (1) 調査対象

区内で地域の福祉を担っている方 124人

※分類（高齢者、児童、障害者等）、地域などの比率を考慮して抽出

#### (2) 調査期間

平成30年2月下旬～3月14日

#### (3) 調査内容

別紙「地域の福祉を担っている方へのアンケート」のとおり

#### (4) 調査方法

郵送およびウェブメールによる配布・回収

#### (5) 回収結果

有効回収数 64人（有効回収率 51.6%）

分類	対象（拠点）	回答依頼数	回答数
高齢者	居宅介護（在宅介護支援センター）	20	11
	訪問介護	13	0
	支え愛・ほっとステーション	13	13
	民生委員	13	10
児童	主任児童委員	13	7
	保育園（区立）	15	2
	児童センター	5	4
障害者	支援センター	4	2
	施設	4	3
	保健センター	6	6
医療	訪問看護	12	4
その他	保護司	6	2
合計		124	64

#### (6) 回答内容

別紙「地域福祉専門職アンケート回答一覧」のとおり

## 地域の福祉を担っている方へのアンケート

(1) 既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題をご記入ください。また、それらに一番関連する分野を選んでください。(最大3つまで)

分野	<input checked="" type="radio"/> 高齢者 <input type="radio"/> 児童・青少年 <input type="radio"/> 障害者 <input type="radio"/> 地域交流 <input type="radio"/> 家族関係 <input type="radio"/> 生活困窮 <input type="radio"/> 就労 <input type="radio"/> ごみ・住環境 <input type="radio"/> その他 (                      )
事例・問題 1	
分野	<input checked="" type="radio"/> 高齢者 <input type="radio"/> 児童・青少年 <input type="radio"/> 障害者 <input type="radio"/> 地域交流 <input type="radio"/> 家族関係 <input type="radio"/> 生活困窮 <input type="radio"/> 就労 <input type="radio"/> ごみ・住環境 <input type="radio"/> その他 (                      )
事例・問題 2	
分野	<input checked="" type="radio"/> 高齢者 <input type="radio"/> 児童・青少年 <input type="radio"/> 障害者 <input type="radio"/> 地域交流 <input type="radio"/> 家族関係 <input type="radio"/> 生活困窮 <input type="radio"/> 就労 <input type="radio"/> ごみ・住環境 <input type="radio"/> その他 (                      )
事例・問題 3	

- (例) ・支援対象者の同居家族に引きこもりの人がいるが、支援する手立てが無い  
 ・高齢者男性の方はあまり外出することがなく、孤立してしまう

(2) (1)に記入した事例・問題に対し、解決に向けたご提案がありましたら、ご記入ください。

--

(例) ・支援対象者の同居家族も含めた世帯丸ごとの相談をとりあえず受け止める場の検討  
 ・ちょっとした散歩や買い物の付き添いなどを行うボランティア活動を組織化する

(3) 今後、特に連携していきたいと思う他の団体や組織はありますか。以下の選択肢より上位3つを選び、順に回答欄へご記入ください。

回答欄		選択肢		
1番目		1.町会・自治会	2.民生・児童委員	3.学校・保育園
2番目		4.ボランティア団体(NPO)	5.福祉施設	6.行政
3番目		7.社会福祉協議会	8.支え愛・ほっとステーション	9.在宅介護支援センター
		10.医療機関	11.警察・消防	12.弁護士・司法書士
		13.企業・商店	14.その他 ( )	

(4) 品川区の地域福祉に関するご意見・ご感想がございましたら、ご自由にご記入ください。

--

調査にご協力いただき、ありがとうございました。集計結果は後日、区のホームページ等に掲載するとともに、次期計画の参考にさせていただきます。  
 お手数ですが、ご記入もれがないかお確かめのうえ、下記提出先に電子データにて**3月14日(水)まで**にご提出願います。

【提出先】 品川区 福祉計画課 地域包括ケア推進係  
 MAIL : fukushikeikaku-chiiki@city.shinagawa.tokyo.jp

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
1高齢者	1	01高齢者	近隣入浴施設への移動困難	近隣に区営入浴施設の開設、コミュニティバス	
1高齢者	2	08ごみ・住環境	認知症の方のゴミ出し	ゴミだし、ゴミ片づけのボランティアの組織化	
1高齢者	3	06生活困窮	生活困窮による介護サービス利用困難	生活困窮に関してボーダーラインの方の相談の場	
1高齢者	4	01高齢者	本人希望に応じた買い物等へのヘルパー利用	買い物等外出の付き添いを行う等のボランティアの充実・育成	
1高齢者	5	01高齢者	若年性認知症の家族の負担増	若年性認知症者対象の社会資源の充実、家族の負担軽減のための相談窓口の充実	
1高齢者	6	01高齢者	老老介護世帯の生活支援、見守り	高齢者向け食事会等の高齢者世帯の見守り・支援活動	
1高齢者	7	01高齢者	支援必要な本人・家族の介護保険サービス利用拒否		
1高齢者	8	01高齢者	高齢者住宅や病院での看取り拒否	入居時の看取りに関する説明、在宅看取り体制や医療体制の充実	
1高齢者	9	06生活困窮	精神疾患者の生活困窮関連手続きが困難		
1高齢者	10	01高齢者	支援必要な本人・家族の通院拒否や家族関係	高齢者福祉課との連携による家族へのアプローチ	
1高齢者	11	05家族関係	主介護者の精神的な問題による本人支援への支障	介護者支援も同時に出来る体制づくり、専門機関との協力	
1高齢者	12	06生活困窮	生活保護対象にはならない生活困窮者への生活支援	各関係機関との連携、ボランティア団体や低料金でやってくれる組織の構築	
1高齢者	13	08ごみ・住環境	低所得・認知症等による害虫等居宅衛生面の問題	保健所の駆除の拡充。製薬会社による無償駆除や商品開発時のモニター対象とする	
1高齢者	14	01高齢者	通所介護を希望する移動制約のある方への支援	近隣入浴施設への循環バス	
1高齢者	15	01高齢者	高次脳機能障害等の第2号被保険者と既存デイサービス内容のアンマッチ	旗の台の障害福祉センターへの送迎サービス	
1高齢者	16	06生活困窮	認知症初期の方が地域で行えるボランティアの不足	ボランティアや仕事をサポートするNPO法人の設立	
1高齢者	17	08ごみ・住環境	居宅内清掃や金銭管理の支援を必要とする本人の支援拒否	低所得者を含めた成年後見制度につながらない人への金銭管理支援	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
1高齢者	18	04地域交流	介護サービスや地域との交流や関わりを持っていない人への支援 高齢者、子供、障害者、母子家庭などへの支援	手ごろな自宅の大掃除	
1高齢者	19	08ごみ・住環境	認知症の独居高齢者の衛生面を含めた生活支援	自治体、後見センター、ヘルパーステーションと対応検討中	
1高齢者	20	01高齢者	高齢期のマネープランニングや日常の家計管理に関する相談窓口	社会福祉協議会の金銭管理相談窓口	
1高齢者	21	03障害者	要介護の親と障害のあるの子の世帯における各支援者の協働	ケースの日常的な情報交換及び制度を越えた定期的な情報共有の充実	
1高齢者	22	01高齢者	精神疾患を抱える介護者が、医療・介護・福祉機関の関わりを拒否	既存制度は保健師が地域問題をカバーする範囲が広く、拒否がある方への継続的な関わりが困難	
1高齢者	23	01高齢者	通院出来ず紹介状がもらえない訪問診療を必要とする高齢者の支援	紹介状なしで可能な訪問診療	
1高齢者	24	01高齢者	アルコール問題のある独居者のケア・見守り困難	柔軟な医療ショートステイの受け入れ	
1高齢者	25	08ごみ・住環境	ゴミ屋敷となっている自宅の環境整備	環境整備時利用できるサービス等の充実	
1高齢者	26	01高齢者	周囲との関係が取れていない独居高齢者の情報共有不足	病院・支援センター・民生委員による情報共有・連携	
1高齢者	27	04地域交流	高齢化した町会からの町会余暇活動に対する支援ボランティア派遣希望	余暇活動支援のボランティアの組織化	
1高齢者	28	01高齢者	地域見守りにおける高層マンションへのアプローチが不十分	マンション住民が集まる機会での支え愛・ほっとステーションの周知。地域支援員である住民や管理人との協力による他のマンション住民への働きかけ	
1高齢者	29	01高齢者	人との交流が苦手な元気高齢者の居場所が少ない	デイサービスなどのような何かをする場所ではなく、図書館のようなただい場所の充実	③高齢者の居場所
1高齢者	30	01高齢者	精神疾患がある高齢者の生活・医療面の支援が困難	地域の見守り体制への医療関係者の参加による生活面・健康面の安定	
1高齢者	31	01高齢者	介護保険サービスが必要な本人の関わり拒否		
1高齢者	32	01高齢者	都営アパート居住者における見守る・支える側双方の高齢化	若い世代(50代～60代を中心に)が地域活動に関心を持てる取り組みやイベント(お祭りなど)の実施	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
1高齢者	33	01高齢者	親族、近隣、関係機関等の関わり拒否、通院・介護保険申請拒否	関係機関との関わり方の検討	
1高齢者	34	01高齢者	認知症の独居高齢者の成年後見制度利用・介護保険更新の拒否	関係機関と連携しての見守り体制づくり	
1高齢者	35	03障害者	高齢の親が入院等した場合の精神障害のある子の生活支援・相談	支え愛、民生委員、障害関係機関の連携体制づくり	
1高齢者	36	01高齢者	アパート取り壊しに伴う大家から高齢者への立ち退き要求		
1高齢者	37	01高齢者	単身高齢者へのアパート取り壊しによる退居の際の転居先探し	支え愛・ほっとステーション職員と民生委員の連携による家さがしのアドバイスや家族への連絡	
1高齢者	38	01高齢者	単身高齢者へのアパート取り壊しによる退居要求		
1高齢者	39	01高齢者	認知症夫婦の医療機関受診・介護保険申請拒否	家族・高齢者福祉課・在支との情報共有・緊急時対応体制づくり 介護保険申請拒否の方への関わり方についての関係機関による体制づくり	
1高齢者	40	03障害者	障害福祉サービスから介護保険のサービスの移行	介護保険サービスと障害福祉サービスの違いや移行期の対応を関連機関で整理し共有する	
1高齢者	41	03障害者	高齢者サービスでは対応が困難な40代精神障がい者の支援	本人状況を見極め対象となる精神障害の相談機関に情報提供。 スムーズな移行のため、保健所や障害福祉課など他分野の機関との関係性づくり	
1高齢者	42	01高齢者	関係機関の関わりを拒否する認知症の独居高齢者のゴミ出しや金銭貸借	時間をかけての関係機関の対策の一致・共有や地域の方々への理解を働きかけ	⑤認知症の独居高齢者
1高齢者	43	01高齢者	家族が介護保険サービス利用や在支との関わりに消極的な独居高齢者	個人情報取扱共通ルールづくりのため情報交換の場づくり	⑤認知症の独居高齢者
1高齢者	44	01高齢者	病気や認知症の独居高齢者のサービス利用や財産管理	個人情報取扱共通ルールづくりのため情報交換の場づくり	
1高齢者	45	01高齢者	高齢者の生活保護世帯やゴミ屋敷への対応	ゴミ屋敷化してしまう認知症への近隣の理解を深める関わり	
1高齢者	46	01高齢者	老親からの精神疾患のある引きこもりの子の将来的な生活不安への相談	保健センターや支え愛等関係機関の役割分担や問題意識の共有。問題が起こる前から問題意識を共有できる取り組み	
1高齢者	47	01高齢者	近隣高齢者との騒音苦情トラブル	警察・高齢者福祉課・民生委員等関係機関の連携・問題意識の共有	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
1高齢者	48	01高齢者	年賀状代筆ボランティアがなかなか見つからない	多人数が集まる場で募集する事で顔見知り同士という心理が働く事での人員確保	
1高齢者	49	01高齢者	老親と精神疾患が疑われる子で引きこもり状態の家庭へのアプローチ	支え愛・保健センターとの連携方法や医療機関とのつながり構築	
1高齢者	50	01高齢者	精神的な医療ケアや支援が必要な高齢者への対応		
1高齢者	51	01高齢者	認知症の独居高齢者への地域での見守り困難	グループホームよりすこし重いケアレベルの認知症の方が生活できる施設	
1高齢者	52	02児童・青少年	こどもの泣き声通報に対して、場所の特定が困難	子どものいる家庭の名簿を民生委員へ配布	
1高齢者	53	01高齢者	孤独死や倒れているケースの増加		
1高齢者	54	08ごみ・住環境	空家の木の落ち葉や枝の管理	メール、ライン等の有効活用やケアマネージャー等の協力	
1高齢者	55	01高齢者	高齢男性の公共的支援の拒否		
1高齢者	56	01高齢者	独居高齢者のケガや急病への民生委員として対応範囲		
1高齢者	57	01高齢者	引きこもりぎみの男性高齢者への地域交流参加の促進	訪問時の世間話や区の行事の伝達やお誘い	③高齢者の居場所
1高齢者	58	01高齢者	認知症を疑われる日中独居高齢者への財産管理等の支援		
1高齢者	59	01高齢者	ゴミ屋敷化している居宅の対応	在支・大家と相談・連携しながらの対応	
1高齢者	60	08ごみ・住環境	高齢者のゴミ出しの曜日や場所の間違い	町会・警察との協力、置き去り品処理費用助成等財政的支援	
1高齢者	61	08ごみ・住環境	通学路上の近隣と関わりのない独居高齢者宅の傾いた塀の危険性		
1高齢者	62	01高齢者	高齢者男性の行事への低出席率	高齢者男性が参加したくなる行事開催(酒席、麻雀、競馬観覧等)	
1高齢者	63	09その他	職業を有する民生委員増加による活動の低下	優秀な民生委員の定年延長、報酬化の導入	
1高齢者	64	01高齢者	声を出せない独居高齢者も利用できる安否確認システム	音声電話以外か音声を代わり出す機械を利用したシステム	
1高齢者	65	02児童・青少年	一人親家庭で親が精神的な病気の場合の対応		

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
1高齢者	66	01高齢者	高齢の親と子の世帯の緊急時の家事手伝いサービス	個々の相談内容に応じた、サービスの縦割りを越えた相談対応	
1高齢者	67	02児童・青少年	生活困窮の独居男性高齢者への対応	個々の相談内容に応じた、サービスの縦割りを越えた相談対応	
1高齢者	68	01高齢者	老親と知的精神障害のある子の世帯へのアプローチ	民生委員訪問対象から抜けられないよう、プライバシーに配慮した上での障害の有無を含めたきめ細やかな情報共有やチームでの関わり	
1高齢者	69	01高齢者	老親と精神障害のある子の世帯へのアプローチ	住民票上問題なく訪問対象外となってしまうので、プライバシーに配慮した上での障害の有無を含めたきめ細やかな情報共有やチームでの関わり	
1高齢者	70	01高齢者	認知症の独居高齢者の財産管理や生活支援	プライバシーに配慮した上での障害の有無を含めたきめ細やかな情報共有やチームでの関わり	
2児童	71	01高齢者	人との交流を苦手とする高齢者への対応	支え愛・ほっとステーションへのお誘い	
2児童	72	02児童・青少年	危険なことをしている小・中学生への注意の声掛け		
2児童	73	03障害者	障害への色眼鏡による家族の心痛	支え愛・ほっとステーションへのお誘い	
2児童	74	02児童・青少年	不登校児の家族が利用できる身近な相談場所	学校以外の地域センター・児童センター等身近な場所での相談対応	
2児童	75	01高齢者	体調不良時にすぐに救急車を呼ぶ高齢者	#7119での緊急性の有無を確認の周知・徹底や救急車の有料化	
2児童	76	01高齢者	障害サービス利用にあたっての相談		
2児童	77	02児童・青少年	母鬱気味で学校を休みがちの家族の見守り		
2児童	78	01高齢者	公園等で高齢者からの声掛けを怖がる子供	高齢者の出かけやすい場所づくり	
2児童	79	01高齢者	災害時の日中独居高齢者、身体・発達障害の方の住所等の把握	障害者にも災害時の町会への情報提供の可否の確認及び名簿等の町会と行政での共有	
2児童	80	02児童・青少年	学校や児童委員との関わりに消極的な不登校児の親への対応	教育委員会(ハーツ)等も含めた対応	
2児童	81	02児童・青少年	高校進学時の生徒情報の共有や中退者向け相談窓口	高校中退者、フリーター、引きこもり等区内未成年に対する相談の場の設置やハローワークや保健センターとの協力	
2児童	82	02児童・青少年	特別支援学校の生徒に関する情報共有や協力体制		



地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
2児童	83	02児童・青少年	不登校気味の児童の家庭の様子の見守り		
2児童	84	02児童・青少年	独居老人のケア	一人暮らし老人が孤立しないような地域の仕組み作り	
2児童	85	09その他	認知症、特に若年性認知症について	予備軍に対する早期のチェック、治療の仕組み	
2児童	86	02児童・青少年	該当児童、ケース会議、児童相談所、学校との関わり方	該当児童の家族も含めた相談	
2児童	87	02児童・青少年	相談相手や頼れる人がいない母親からの一時保育希望	駅前型の緊急一時保育室等有資格高齢者の労働力を生かした場の設置や小学校の空き教室の活用	
2児童	88	04地域交流	保育園の急増に伴い、公園を園児が占拠	大崎・五反田地区に林立しているマンションの間に地域のこどもが運動できる広場を設置	
2児童	89	03障害者	高齢者、子ども、障害者に危険な歩道や段差の多い道路、路上駐車等		
2児童	90	02児童・青少年	保育園が閉園になった子の預かり先		
2児童	91	09その他	子どもの声や園児の登降園に関する保育園への苦情		
2児童	92	02児童・青少年	孤独な子育てに対する在宅子育て支援	初めてママパパ向け事業や施設・サービス利用券など、より児童センターへ足を運びやすくするための仕掛けづくり	
2児童	93	08ごみ・住環境	学校・家庭と児童センターのごみ分別方法の相違	事業系のごみ分別収集方法の家庭、学校と区施設での統一	
2児童	94	02児童・青少年	児童センターにおける事業のスタッフや協力者である大学生の関わり	児童センター事業の見直しで大学生等も含めた地域の世代が子どもを中心として展開する施設への改革	
2児童	95	02児童・青少年	小中学生の不登校児の増加	児童本人だけでなく、家族もケアできる体制づくり。スクールカウンセラーの増員や地域コーディネーターの活用、退職教員のボランティア育成等	
2児童	96	07就労	保育園に入園できず困っている就労、復職希望の女性	行政での取り組みの継続の他、企業内保育所開設・運営の努力と行政による当該企業への援助・助成の検討	
2児童	97	06生活困窮	外国籍の世帯における区政・サービス情報の理解度	外国籍世帯、特に子育て中の保護者へ、外国語冊子の他、外国語区政情報支援スタッフによる直接相談や支援できるシステムづくり	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
2児童	98	02児童・青少年	小学校高学年から中高生にとって気軽な居場所	児童センターは幼児親子や低学年が多いと、居づらく感じてしまう様子なので、町会会館等の空き時間に中高生に居場所や学習場所や乳幼児親子の集える場所として提供。その場に地域の方が見守りやサポーターとして交流	④若者の居場所
2児童	99	04地域交流	町会や地区委員活動への若い世帯の参加	町会会館など、使用していない時間帯に中高生に居場所や学習場所、乳幼児親子の集える場所として提供。その場に地域の方が見守りやサポーターとしての交流	
2児童	100	02児童・青少年	児童センター利用者の保護者の外国人とのコミュニケーション	保護者の方へ、日本語を教えてくれる場の提供、通訳のボランティアの確保、対応者への語学研修の充実	
2児童	101	09その他	保育園へ入園できず、職場復帰ができない	保育園入園できなかった方に対する定期的な預かり施設の整備	
2児童	102	02児童・青少年	支援を要する18歳以上の青年の居場所	孤立しないように支援を要する青年層が利用できる場の検討	
3障害者	103	03障害者	高齢障害者の障害サービスから高齢サービスへの移行	障害者が高齢化した場合の生活モデルや金銭面含む選択肢のわかりやすい情報提供	
3障害者	104	03障害者	退職した高齢障害者の居場所	就労してきたため福祉とのつながりがなく、体も元気な方向けの高齢障害者サークルの創設	
3障害者	105	03障害者	45分未満の短時間のサービス調整・利用	介護事業所に断られてしまうケースがあるため、支え愛・ほっとステーションの枠組みの再検討	
3障害者	106	03障害者	通院同行における院内の自費負担	区との事例の検討	
3障害者	107	03障害者	障害特性からアパートでの単身生活が困難	区内における精神障害で利用できる滞在型グループホームの充実	
3障害者	108	03障害者	在宅で医療ケアを必要とする障害者のショートステイ利用が困難	医療ケア可能なショートステイ先の増設	
3障害者	109	03障害者	障害ショートステイ送迎を担う施設が少ない	高齢サービスと同様に受け入れ先が送迎サービスを行えるような障害ショートステイ送迎サービスの整備	
3障害者	110	03障害者	主介護者の親の高齢化により世帯ごと支援が必要な状況	世帯ごと支援が必要な際の障害相談員と介護ケアマネの連携強化	
3障害者	111	03障害者	介護者が病気等の際に、支援対象者本人が利用できる施設が区外	区内の障害者グループホームやショートステイの増設	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
3障害者	112	08ごみ・住環境	公園清掃時の家庭ゴミや家電の不法投棄や猫等の糞の問題	公園内のごみ箱の撤去 見回りボランティア	
3障害者	113	09その他	福祉の仕事を希望される方の減少	区内のお祭り等で福祉の魅力ややりがいのアピール活動を実施	
3障害者	114	03障害者	社会との関りなどがなく家族内で生活してきた知的障害者	目先を少し変えた「抱え込みや虐待等への通報先や相談先」の周知。公園、スーパー、ゲームセンター、駅、図書館、ファーストフード・喫茶店・ドラッグストアなどのレシートの裏やトイレ	①老障世帯
3障害者	115	03障害者	親亡きあとの老障介護	高齢障害者への対策と支援機関のスムーズな連携・協力できるシステム整備	
3障害者	116	03障害者	この地域での福祉・介護で働く人材の不足		
3障害者	117	01高齢者	介護・障害サービスで対応が難しい通院支援	介護・精神・知的等に関わらず、通院支援を行うボランティア組織	
3障害者	118	02児童・青少年	2名の乳幼児を育児する統合失調症の母への支援やサポート	精神疾患の方が通える多様な作業所・居場所づくり。障害施設をめぐるバスの運行。障害のある方のヘルパー利用等の要件緩和	
3障害者	119	03障害者	脳出血後の高次脳機能障害の症状がある方の居場所	・高次脳機能障害、精神疾患の方が通える多様な作業所・居場所づくり ・障害施設をめぐるバスの運行 ・障害のある方のヘルパー利用等の要件緩和	
3障害者	120	07就労	高齢の親と数十年引きこもりの子の世帯への支援	地域の人の声掛け・見守りや対応方法を学んだ人の組織化	
3障害者	121	05家族関係	家族関係・生活困窮・就労希望への総合的な相談対応	家族全体の相談に乗り対応できる場の設置	②多問題 家族への 支援
3障害者	122	03障害者	心身障害のある乳幼児及び家族への支援	園・学校の送迎や通院への支援等短時間の子育て支援の充実	
3障害者	123	03障害者	精神障害者の退院後の地域における生活支援	携わる団体の誘致、人材確保の保証や研修によるスキルアップ等による社会資源の充実	
3障害者	124	02児童・青少年	ひきこもりの方や精神状態の不安定な方の相談		
3障害者	125	01高齢者	高齢夫婦のみの世帯の夫の軽度妄想幻覚や妻の転倒		
3障害者	126	03障害者	介護者である妻のリフレッシュ	対象が子どものみでなく介護者がちょっとした買い物、リフレッシュをするのに使えるレスパイト事業の実施	

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-3】

【質問】既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案はありますか。(1人最大3回答まで)

回答者属性	No.	分野	事例・課題(短縮版)	解決への提案(短縮版) ※空白は解決提案未記入	抜粋
3障害者	127	03障害者	難病の方のIPットやアプリ購入の経済的な負担	意思伝達のためのIPット・アプリ、スイッチ単独の購入助成	
4医療	128	06生活困窮	高齢の親を介護する精神疾患既往のある子への支援	保清、食事内容の充実、認知症の進行遅延のためのデイサービスの増回、宅配サービスによる食事改善、生活困窮の子に対する福祉機関のアプローチ	
4医療	129	07就労	若年の脳血管疾患患者の就労・経済的自立		
4医療	130	06生活困窮	生活保護受給者への必要性に疑問のある投薬や治療		
4医療	131	01高齢者	利用者と同居の就業中の配偶者が介護の担い手とみなされてしまう		
4医療	132	06生活困窮	生活困窮による介護サービス利用終了	介護保険の自己負担分の減額措置	
4医療	133	06生活困窮	生活保護受給者の連日の受診や電話相談	かかっている医療費について行政から伝達。夜間や休日にも話を聞くボランティア	
4医療	134	08ごみ・住環境	健康に影響を及ぼす不衛生な室内	町内での衛生活動の立ち上げ・巡回	
4医療	135	04地域交流	外出の機会がなく引きこもりがちな生活	外出のきっかけ作りのため、気軽に参加できる地域内でのイベントや行事の誘い	
5その他	136	03障害者	自力で生活しようと努力している精神障害者の現状の自治体における把握	品川区における「何でも窓口」の設置。町会、民生委員、保護司の他すべてのボランティアに手厚い援助と協力	
5その他	137	01高齢者	高齢者の声の小さい者に光を当てた行政	区内トイレの洋式化、道路の段差解消、区内小型バスによる周回コースの区内全体の運用等高齢者にやさしい品川区づくり	
5その他	138	02児童・青少年	区内小中学校跡地の少年野球・サッカー等青少年の健全育成への利用		
5その他	139	05家族関係	犯罪した人の更生施設後における老親等による引受人の拒否や生活困窮	区内に帰る場所の開設	
5その他	140	02児童・青少年	児童虐待の発生件数の増加	区民全体の児童虐待の防止意識の向上への取り組み	
5その他	141	08ごみ・住環境	町の住環境に大切な要因である緑が少ない	開発されるマンションに対して植樹の義務を課すなどの緑を増やす政策	

## ◆地域福祉専門職アンケート回答（一部抜粋）

既存のサービスで対応が難しいと感じた事例や地域で気になる問題、また、それらに対し、解決に向けた提案について

### ①老障世帯

（事例・課題）（事例No. 1 1 4）

【状況】脳梗塞になり入院された高齢の男性が、退院後の生活等を心配されており、地域の保健師が訪問したところ、自宅内に引きこもりの障害者である息子（40代）がいた。息子は重度の知的障害があるようだが、身の回りのことはどうにか行えている様子である。愛の手帳などの取得はなく、社会との関わりや本人の活動参加などはないまま、ずっと家族との間だけで生活してきたことがわかった。

【経緯】息子本人を両親だけで抱え込んできた。兄弟がいるため、自宅内ではフォローを受けられどうにかなってきた。母の他界後は父が抱えてきたが、今回父が脳梗塞となり医療につながったことから、本人の存在が明らかになった。

【課題】既存のサービスとして障害者関係・区役所・保健機関など各支援機関はそれぞれあるが、本人の存在を家族が隠してしまったり周辺の者が触れることなくきた場合、具体的支援や本人のQOLが失われてしまう。

【その後】保健師より障害者福祉課・障害者生活支援センターにつながり、現在、日中活動への支援を始めた。

#### 【解決の提案】

「抱え込みや虐待等への通報先や相談先の周知」の目先を少し変えて周知してみる。

公園/スーパー/ゲームセンター/駅/図書館/ファーストフード・喫茶店・ドラッグストアなどのレシートの裏やトイレ

狙い：当事者だけでなく、近所の人や地域で気づいた人が、連絡や相談をできる場を知りやすくすることにより、埋もれてしまうケースを少しでも減らす。（公的な場やありきたりの機会への周知だと、知れる人が限られてしまう）

\*子育て支援・高齢者・障害者など様々な支援が必要な段階で連携していく体制があるとよい。

\*「超・超高齢化社会」への取り組みの中でも見えにくい課題である「障害者も高齢者になる」ということ。今年度、区では、「高齢障害者への対策と支援機関のスムーズな連携」について関係部署がプロジェクトの一步を踏み出し始めた段階。関係機関がスムーズにつながり協力できるシステムが整うことを進めたい。

## ②多問題家族への支援

(事例・課題) (事例No. 1 2 1)

本人(障害者)は40代男性、無職、高齢の両親と同居

別居家族から、本人が食事もせず部屋に閉じこもっていて心配という相談があり発覚。本人は、家のお金を母から脅し取っているということが長年続き、母が借金までしていることを家族で話し合った結果、部屋に閉じこもるようになってしまったとのこと。本人不在で対応できないこともありつつ、数回訪問後本人と話ができ、体調的には落ち着いていた。就労について困っている様子であったので、区役所にも相談できることを話した。その後も、本人が家族からお金を脅し取ろうとすることで母は疲弊していると相談者から連絡があるが、相談者自身の主張も「本人を受診させたい」「母の対応をどうしたらよいか」「本人に仕事をさせたい」など一貫性がなく、対応の助言を家族で対応する様子が見られない。

家族全体それぞれに問題があり他部署と連携しているが、一貫性のない相談で総合的に相談対応できない。

### 【解決の提案】

家族全体の相談に乗り対応できる場があるとよい。

## ③高齢者の居場所

(事例・課題) (事例No. 2 9)

家の中に冷暖房がなく自身で電車に乗って外出もする70代の男性。大きな病気等なく元気だが、性格的に人との交流が苦手なようである。そうした方が気軽に通える居場所があると良い。

### 【解決の提案】

図書館等以外にもデイサービスや地域サロンやフリースペースのように行った先で何かをするのではなく、ただの場所、というのも必要なのかと感じた。

(事例・課題) (事例No. 5 7)

家の中で引きこもりしている高齢男性を多く見かけ、地域交流等への参加を声かけしていますが、なかなか外に出られない。

### 【解決の提案】

顔見知りの方が定期的に訪問して世間話や区の行事を教え、興味があったらどうですかとお誘いする。

#### ④若者の居場所

(事例・課題) (事例No. 9 8)

小学校高学年から中高生が気軽に立ち寄れる場が少ない。児童センターはあるが、幼児親子や低学年が多いと、居づらく感じてしまう様子。

不登校の児童・生徒が増える中で、彼らの居場所となる場も少ない。

##### 【解決の提案】

町会会館など、使用していない時間帯に中高生に居場所や学習場所、乳幼児親子の集える場所として提供。その場に地域の方が見守りやサポーターとしていてくださると、交流にもつながる。

#### ⑤認知症の独居高齢者

(事例・課題) (事例No. 4 2)

一人暮らし高齢者、近所ではゴミの始末や金銭の貸し借りなどのトラブルを起こしている。認知症と思われる被害妄想や物取られ妄想などの症状が出ており、アルコールを摂取しているため、外出時歩行がおぼつかない。

在宅介護支援センター、支え愛・ほっとステーションの関わりを拒否。

##### 【解決の提案】

時間をかけて関係機関が連携するなど対策の方向性を一致させて共有することが重要。また、時間をかけることが必要であると地域の方々に理解していただけるような働きかけをする必要がある。

(事例・課題) (事例No. 4 3)

子が近くに住んでいる、独居高齢者。

認知症が見られるが、介護保険でのサービス提供も家族が積極的ではない。徘徊あり、本人は心配事があっても遠慮して家族に伝えられない。支え愛・ほっとステーションでは対応が難しいが、在宅介護支援センターからの関わりも家族が受け入れてくれないとサービス提供ができない状態である。

##### 【解決の提案】

情報交換の場を設ける(個人情報取り扱いについて共通の取り決めを作る)

※一部事務局にて表現等を修正させていただいている箇所がございます。ご了承ください。

地域福祉専門職アンケート回答一覧

【資料1-5】

【質問】今後、特に連携していきたいと思う他の団体や組織はありますか。以下の選択肢より上位3つを選んでください。

		連携したい団体・機関														
		町会・自治会	民生・児童委員	学校・保育園	ボランティア団体(NPO)	福祉施設	行政	社会福祉協議会	支え愛・ほっとステーション	在宅介護支援センター	医療機関	警察・消防	弁護士・司法書士	企業・商店	その他	
回答者属性	高齢者	在宅介護支援センター	5	3		2	2			3	4	2		1		
		支え愛・ほっとステーション	7	6	2	1		1			6	6		1	2 保健センター	
		民生委員	4	1			1	7	1	4	4				1 保健センター	
	児童	主任児童委員	2	2	3	1	1	4		1		2	2		1	
		保育士	1			2	1									
		児童センター	3	2	1	2					1				3	
	障害者	支援センター	1	1			1			1		1			1	
		施設	1				2	2			2	1			1	
		保健センター	1	1	1	2	2	2		1	1	4	1	1	1	
	医療	訪問看護	1			2	2	1	1	1	2	2				
	その他	保護司	1			1		1								
	総計		27	16	7	13	12	18	2	11	15	21	5	1	9	3